

# 瑞星編集だより

第1号 R2.1



## 研究誌「瑞星」には、私達 養護教諭の願いが込められています

- ・「瑞星」とは、「めでたい兆しを示すという星」という意味です。
- ・「瑞星」には、養護教諭の活躍が子供の心に光として差し込み、それがよい兆しとなり、子供たちの前途に洋々たることを。そして、同様に養護教諭の行く手にも光の道が開けてゆくことへの願いが込められています。
- ・創刊は、平成9年初冬。隔年で発刊され、新刊第12号の編集が始まりました。



## 「瑞星」は、仲間の実践と全国養護教諭連絡協議会の歩みを掲載！

- ・実践事例集には、全国の仲間の実践が掲載されています。前号第11号までに、280もの事例が編集され、私たちの職務の大きな手立てになってきました。
- ・本号第12号では、実践集の分野を「保健教育」と「保健管理」としました。学習指導要領の本格実施を受け、保健教育の深化と保健管理との一体化が求められています。
- ・全国養護教諭連絡協議会の歩みのまとめとして、調査研究委員会の調査結果概要、2月開催の研究協議会、8月開催の研修会の報告も掲載されています。



## 第12号の実践事例集のキーワードは、「連携」と「協働」です

- 第12号の実践事例集のテーマは、次の通りです。

「今、求められる学校保健の推進  
～連携・協働を高める養護教諭の役割～」  
学習指導要領改訂を生かし、現代的な健康課題の解決を目指す組織活動の実践を編集します。

- 全国の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校での仲間の21人に、執筆を依頼しました。

読みやすく、充実した  
実践集の編集を目指します!

